

大きな憧れをいだく大草っ子



# 大草小学校だより 「だいじょうぶ」

第14号 平成29年12月21日(木) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「大草トライアングル！」 トリプルC

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



## 「大過なくすごす」こと

用務員さんが廊下の高窓を掃除していると、1年生が「気をつけて掃除してください。」と声をかけていました。厳冬を迎える中、心がほっこりする場面に出会い、笑みがこぼれました。



明日で、2学期が終了いたします。1年で一番長い学期でしたが、予想どおりあっという間の78日間でした。「大過なくすごすこと」が

できて、ひと安心といったところですが、「小さな過ち」を繰り返しながら、子どもたちは一回りも二回りもたくましくなったことを実感しています。私たちも順風満帆に過ごしたい気持ちはあるのですが、毎日が失敗の連続でした。三歩進んで二歩下がるぐらいの気持ちで、子どもの成長を支えていかなければならないと改めて考える2学期でした。御家庭ではいかがでしたでしょうか？



OWARI

SEKAINO

「RAIN」より抜粋

僕は空を見上げる

いつか虹が消えてもずっと

雨が降ってたんだ

虹が架かる空には

雨は草木を育てていくんだ

虹はいずれ消えるけど

雨が降ってたんだ

虹が架かる空には

## 先 人 から学ぶ

「教師失格」

江口 季好

四時間目、  
子どもたちと運動場のまわりを歩いた。  
「さっさと歩きなさい。歩くのがおそい子は、遠足に行けないね。」  
わたしは、  
子どもをせき立てて歩かせた。  
この子はわたしに手をひかれて教室にはいった。  
五時間目、  
この子は詩を書いた。

ば ら  
ばらが さいていました。  
ふわっと さいていました。  
えぐちせんせいが  
「はやくおいでよ。」  
といいました。  
わたしはずうっとみていました。



もう退職された校長先生から教えていただいた詩です。作者の江口季好さんは、佐賀県の御出身で、東京都で教職にあられた方です。私は、もっぱら詩を鑑賞する方で、創作の方はだめです。しかし、詩から学ぶこと、自分なりに解釈して生活に生かすことを心がけています。本編は、教職にあるものはもとより、大人として、人間として気付かされることの多い示唆に富んだ作品であると思います。私たちは神様ではありませんし、時には厳しく教え導かなければならない立場でもありますので、すべてを満たすことはできませんが、少しでも行動の裏に気付くことのできる心の余裕を持ち、寄り添うことができるようになりたいものです。



平成30年が皆さんにとって素晴らしい年になりますように(\*^\_^\*)

**3のつく日は「えがおの日」**

**学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。**